

UNISEC行動規範（秋田弁）

2018年1月26日 （2020年7月25日 翻訳）

● 技術・手続き

1. 技術に正直であれ。クリティカルな技術やスケジュール上のリスクを認識せよ。
技術さ正直でねばならね。クリティカルな技術どがスケジュール上のリスクどご認識せ。
2. 修理のできない環境で設計どおり確実に動くシステムをめざせ。
修理できねどこで設計どおりがりっと動くシステムめぜへ。
3. 失敗しないように成功を目指して最善を尽くせ。その時のみ、失敗から得られるものがある。
失敗さねように成功どご目指して最善尽ぐせ。へば失敗がら得られるごともある。
4. 宇宙条約からプロジェクト内の決め事まで、従うべき決まりがあることを忘れるな。
宇宙条約がらプロジェクト内の決め事まで、従わねばならね決まりがあるごど忘れるな。

● プロジェクトの進め方

5. 他人の業績を参照し、その上に自分の貢献を積み重ねよ。
他人の業績どご見で、その上さ自分の貢献を積み重ねれ。
6. 自分たちの力にあった適切な目標をたてよ。
おめがたの力にあった適切な目標をたでれ。
7. 挑戦的なプロジェクトにはプレッシャーがあることを理解し、チーム内で励ましあってストレス軽減に努めよ。
挑戦的なプロジェクトさだばプレッシャーあるごど理解して、チーム内で励ましてストレスどご減らすように努めれ。
8. 行った結果を真摯に評価し、次の活動に反映せよ。
やったごどご真摯に評価して、次やるどぎに反映せ。

● ベースとなる考え方・精神

9. 技術、設備、予算などが乏しくても、その中でできることを工夫し、実行せよ。
技術、設備、じえんこねしても、そいでできるごど工夫してやれ。
10. ライバルを見つけ、切磋琢磨せよ。他人の成功をたたえ、自身の向上心につなげよ。
ライバルどご見つけて切磋琢磨せ。ほがの人の成功どごただえで、おめがたの向上心さつなげれ。
11. 互助の精神を尊重し、助けてもらっただけでなく、どう貢献できるかを考えよ。
お互いに助けるごど尊重して、人どごばりあでにせねで、なんとせばいいが自分で考えでみれ。
12. 派手な宇宙の魔力やちやほやされることに溺れることなく、常に謙虚であれ。
魔力やのせあげられるごどあっても、ごろっとさねでえっかだ遠慮さねばいげね。

翻訳協力: 菅原佳城、佐々木茜、他